

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 11

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		資源リサイクル畜産環境整備事業					
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名		農務係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	石井弘道			氏名	苫米地幸二
事業の概要		地域住民の環境問題に対する意識がたかまっており、特に畜産経営に起因する水質汚濁や悪臭に対して住民から厳しく懸念されている状況にあることから、家畜排せつ物の管理、適正化に関する法律に基づき排せつ物処理施設の整備を図ると共に、自然環境機能の促進を図るための飼料基盤整備が必要なことから草地造成等の基盤整備を実施する。				全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 20 年度 ~ 21 年度)	
						事業費	
						国・道支出金	千円
						地方債	千円
						その他	51,659 千円
						一般財源	千円
						事業費計	51,659 千円
実施方法		直営		民間委託		その他 ()	
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業		優先度	A
事業の位置付け		政策目標	1 はつらつ・雄武 ~ 地域産業の振興 ~				
		基本施策	1 農業の振興				
		単位施策	4 安全・安心な農業の振興				
		事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
		その他計画・根拠等	北海道畜産環境整備実施要領				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	34,354 千円	34,444 千円	5,244 千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円	
	合計	34,354 千円	34,444 千円	5,244 千円	千円	千円	

114

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	事業参加農家	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	継続した酪農環境整備の推進	酪農環境の整備			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	家畜排せつ物処理施設の整備 資源環境型農業の実施	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
		施設整備、基盤整備	目標年度	平成21年度	
		基盤整備223ha	目標値	223 ha	
			実績値	187 ha	
達成度	83.8 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	酪農環境の改善や草地整備の推進	目標年度			
		目標値			
		実績値			
		達成度	%		
内容(どのような手段で何を行ったか)					
基盤整備の実施	草地整備 186.84ha				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	町費負担なし 酪農環境整備は、酪農産業発展に必要であるため、本事業により実施する。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	計画的に基盤整備が実施されているが、天候不良等により一部実施できていない。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	事業実施主体が農業開発公社であり、事業の発注も公社で行っていることから、概ねコストに見合った効果は得られている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	事業費の全額が受益者負担である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
天候不良により一部翌年繰越となっているが、受益者の要望どおり事業を実施することができている		

今後の展開方向
(Action)

継続 / 内容の見直し・変更		
一部翌年度繰り越し分の実施をする必要があり。		

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--